

# <患者スピーカーを活用した講演とワークショップ>

～患者との関わり方を見直し、輝く医療者を目指す～

担当責任者:看護学部精神看護学 田中美恵子 教授

## ◇概要

イベントテーマ「患者との関わり方を見直し、輝く医療者を目指す」

～東京女子医科大学病院に通う患者さんとともに～

## ◇目標

患者を知り、今の職務の可能性に気づき、業務へのモチベーションを高める

- ① 患者の医療者に対する気持ちのあり方を知り、関わり方を見直すこと
- ② 患者との対話を通して、医療者への真のニーズに気づくこと
- ③ 患者と共に内省(リフレクション)することで、自分の職務を新たな視点から省みること
- ④ 明日から患者に対する態度・言葉等が変わり、患者から慕われる医療者になること

対 象 者 全教職員(臨時職員含む)、病院ボランティア  
開催日時 2016年7月26日(火) 14:00～17:10  
開催場所 スキルスラボⅡ(本部/女性生涯教育支援センター1階)  
受講料 無 料

## ◇プログラム案(総合進行:鈴木)

開始時刻	時間配分	プログラム	内 容	担当
14:00	5分	イントロ	開始挨拶、研修趣旨の説明 患者スピーカーバンク(KSB)紹介	田中
14:05	10分	活動紹介	患者スピーカーバンクからの挨拶、活動紹介 患者スピーカーのメンバー紹介	鈴木
14:15	20分	講演1	頑張る姿は、こころが伝わる ～双方向コミュニケーションが生み出すより良い関係性～	大沼
14:35	20分	講演2	入院中に感じたこと、嬉しかったこと ～患者も思う医療者とのコミュニケーションの大切さ～	白石
14:55	15分	質疑応答	患者スピーカーの講演に対する質疑応答	鈴木
15:10	10分	休 憩	グループの代表がテーマ決めの抽選に参加	鈴木
15:20	60分	ワールドカフェ	グループに分かれて意見を出し合う 途中でテーマを2回替える	鈴木 KSB
16:20	20分	意見交換	各グループからの発表(発表者はKSB)	鈴木 KSB
16:40	20分	振り返り	全体を通しての気づきや今後の行動への意識づけ	鈴木
17:00	10分	終 了	終了挨拶、アンケート記入	田中

◇ワールドカフェにおける各テーブルのテーマ

- ・あなたができる、患者のやる気が出そうな一言は？
- ・あなたが心がける患者さんへの態度とは？
- ・患者さんの講演を聞いて考えた「明日からできること」とは？
- ・あなたが思う患者の気持ちが前向きになるポイントとは？
- ・患者さんの気持ちを引き出す医療者のコツは？

※上記のテーマからテーブルを1つ選び、途中で2回テーマ(テーブル)を替える。

※5ブース全てに患者スピーカーバンクのメンバーが入る。

◇講演する患者スピーカーの紹介

【講演者1】

氏名:大沼聡(疾患:慢性腎不全)

原疾患は、巣状糸球体硬化症。透析開始して5年、生体腎移植後21年になる慢性腎不全患者。

東京女子医大 移植者の会(あけぼの会)事務局長。

(<http://www.geocities.jp/akebonokai2000/>)

東京女子医大泌尿器科に通院中。

「患者さんの為に頑張っている医療従事者の方は、患者さんへそのところが伝わり、その事によって、双方向の良いコミュニケーションができ、両者にとって良い関係が生まれる」



【講演者2】

氏名:白石大樹(疾患:甲状腺がん・潰瘍性大腸炎)

東京女子医大内分泌外科と外科に入院経験があり。

「闘病中に感じたこと、嬉しかったこと、こうして欲しかったことなど東京女子医大での患者経験を踏まえて、相互の関係性を築くには患者からの要望と医療従事者側からの要望のバランスや見極めが大事である」



※講演者は、都合により変更する場合があります。

【総合進行】

氏名:鈴木信行

疾患:二分脊椎症、精巣がん

所属:NPO法人患者スピーカーバンク理事長、患医ねっと株式会社代表取締役、「みのりCafé」オーナー

経歴:先天性二分脊椎症による身体障害者。20歳、24歳にて精巣がん罹患。

第一製薬(株)(現第一三共)製剤・製薬技術研究所に13年間勤務したのちに、カフェを開業。その後、東京大学医療人材養成講座に参加。その研究成果を受けてNPO法人患者スピーカーバンクを創立。

また、患者と医療者の協働を目指し、患医ねっと(株)を創業。

現在は、北里大学非常勤講師などで教育に参画するとともに、病院職員の研修事業も手掛けている。

# 受講申込用紙

受講申込方法は、下記の3点からお選び下さい

① E-mail で申込む(E-mail アドレス: [ecim.bm@twmu.ac.jp](mailto:ecim.bm@twmu.ac.jp))

下記の受講申込記入欄を参照に必要事項を明記し、送信して下さい。

② FAX で申込む(FAX 番号:03-5269-7375)

下記の受講申込記入欄に必要事項を記入し、この用紙でFAX を送信して下さい。

③ 医療人統合教育学習センターへ直接申し込む

下記の受講申込記入欄に必要事項を記入し、本部/女性生涯教育支援センター1階の医療人統合教育学習センター(スキルス・ラボ)へ持参して下さい。(下図参照)

… 〆切期限 : 平成 28 年 7 月 8 日(金) …

## 受講申込記入欄

施設・所属部署名

職 種

氏 名

連絡先(内線番号、E-mail など)

※講演者、患者スピーカーを中心とした写真撮影を行いますことを予めご了承ください。

問い合わせ先

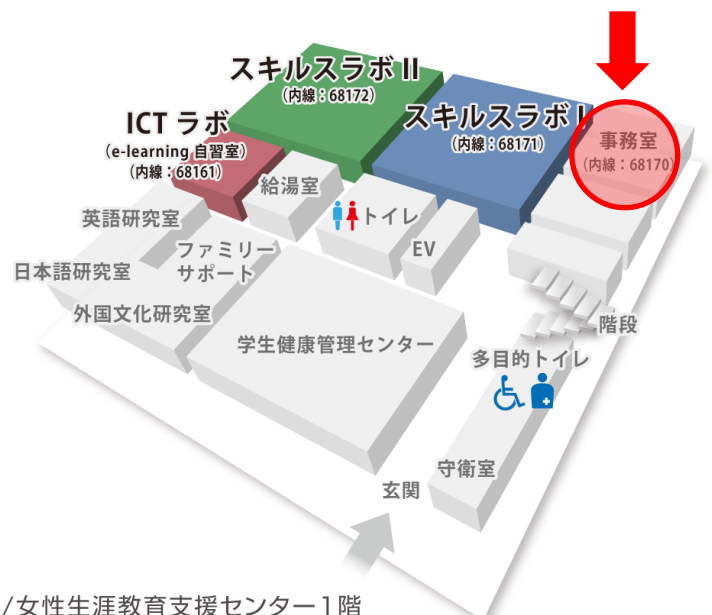
医療人統合教育学習センター

内 線 ; 68170

FAX. ; 03-5269-7375

E-mail ; [ecim.bm@twmu.ac.jp](mailto:ecim.bm@twmu.ac.jp)

担 当 : 鹿 野



NPO 法人患者スピーカーバンク・本学人事部共催

本部/女性生涯教育支援センター1階